

戦国時代のクリスマス400年前の南蛮行列を再現

フェスティビタス ナタリス

昨年12月20日(土)、フェスティビタスナタリスが、有馬小学校グラウンドで行われました。これは、織田信長が天下を統一しようとしていた1580年、イエズス会の中教育機関「有馬のセミナリヨ」が日本で初めて南島原市北有馬町に創立されたことに由来して行われているもので今年で12回目。市内外から多くの人が訪れました。

シンボルは日本最大規模のクリスマスツリー

フェスティビタス ナタリスのクリスマスツリーは、11月上旬に実行委員会が有馬小グラウ



↑高さ30mの巨大クリスマスツリー

ンドの巨大ツリーと付近の街路樹82本に約26,000個の発光ダイオードを取り付けました。フェスティビタスナタリスのイルミネーションは、南島原市の冬の風物詩となりセミナリヨの里を照らし続けました。

南蛮行列を再現



↑たいまつを手に1.1kmの道のりを行く南蛮行列

400年前、ポルトガル人や宣教師たちを生き生きと描いた南蛮屏風の世界を参考に、当時と同様に日野江の城下町の通りを南島原市民150人が、宣教師、天正遣欧少年使節、ポルトガル人に扮して行列を再現しま

した。行列はたいまつの灯りと聖歌隊のグレゴリオ聖歌の歌声に乗って、巨大ツリーが点灯したイベント会場入りしました。

南蛮料理やポルトガルワインも楽しみました



↑コルス・アンジェリクスのステージ

ステージでは、北有馬町内の児童・生徒で構成する聖歌隊「コルス・アンジェリクス」が、400年前のグレゴリオ聖歌をラテン語で再現しました。また、朗読劇や豊臣秀吉が聴いた西洋音楽の再現や、復元古楽器の「アルパ」を使い、随所に当時の音色を会場に響かせました。イベント会場では400年前の復元西洋菓子、南蛮料理、ポルトガルのワインなど、侍たちがいたころのクリスマスを楽しみむ皆さんで賑わっていました。

「安全・安心のまちづくり」の誓いも新たに

南島原市消防出初め式

新春の1月5日(月)、西有家中学校運動場および須川港付近で、南島原市消防出初め式が開催されました。

式典では、まず、消防団旗・消防署旗を掲げた各員の入場が始まり、人員報告、服装点検並びに機械器具点検が行われました。



↑整然とした隊列や動作で士気の高さを示した南島原市消防団



↑式辞を述べる松島市長

松島世佳市長は式辞の中で、「消防団員、消防職員の皆さまには、常日頃、消防防災の最前線で地域の安全安心を守るために、日夜献身的なご尽力をいただいております。心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。地域住民の安全を守る「災害に強いまち」を実現させるには、常備消防はもとより、地域防災の要である消防団の一層の充実強化を図るとともに、自主防災組織など関係者が一体となり、総合的な地域防災力をさらに充実させる必要があります。消防の伝統を引き継ぎ、地域住民の安全と郷土の繁栄のため、より一層のご精進をお願いします」と全消防団員に力強くあいさつしました。



↑決意を述べる石川団長

さらに、多年にわたる功績をたたえる消防庁長官表彰や消防協会長表彰などが行われ、元団員を含め約400人が表彰を受けられました。被表彰者を代表して、元副団長相川重勝さんは、「伝統ある消防団に入団して以来、先輩諸氏の厳しい中にも温かいご指導を受け、なんとか防火の防人の一員として頑張ってきました」と謝辞を述べました。

最後に、石川昭三団長は、「どのような事態が起きても、迅速に対応するための日頃の訓練の積み重ねと、平素の施設・設備の点検整備が肝要であり、そこそが我々消防団が地域住民から信頼を得る源であります。これからも各種の訓練等を通じ、消防団員としての資質向上に努め、「自らの町は自ら守る」の郷土愛を胸に、消防人としての使命を果たすべく、団員諸君の



↑パンフルート奏者 岩田英憲さん

イベントの最後には日本のパンフルート第一人者の岩田英憲さんを招いて巨大ツリーをバツクにコンサートがあり、澄み切った夜空にパンフルートの音色が染み渡ったクリスマスナイトでした。

有馬のセミナリヨ

1580年、日野江城主有馬晴信はイエズス会の巡視師アレックス・パリーニャーノの教育構想に協力し、日本初のイエズス会の中教育機関有馬のセミナリヨを日野江城下に誘致しました。有馬のセミナリヨでは、ラテン語・ポルトガル語、日本語のほか、音楽、美術、地理学など当時の日本人が想像もつかなかったルネサンスの最先端の学問が導入されました。天正遣欧少年使節としてローマへ渡った4人の少年をはじめ、多くの国際人を輩出しています。



↑幼年消防クラブのみなさん



↑ポンプ車17台による一斉放水(西有家町須川港)

更なる奮起を期待いたします。」と、南島原市消防団員としての決意と自覚を促しました。式典終了後は、幼年消防クラブを先頭に、各地区ごとに須川商店街、須川港までを分列行進。消防ポンプ車17台による一斉放水が行われると、観客から歓声があがり、新春の空に水しぶきが広がりました。